

2025年3月25日

マイナンバーカードの社会実装に備える 厳格な本人確認をキャッシュレス決済端末で行う新常識

■IT 社会の光と影

近年、IT 技術のめざましい進化により、私たちの暮らしは便利で快適になる一方、新たな課題が誕生しました。巧妙化する偽造カードやなりすましによる不正行為の増加です。

一般社団法人日本クレジット協会によると、2024 年全体の被害額は過去最高の 555 億円*1 となりました。このほかにも、偽造運転免許証などで本人になりすまし、不正契約による物品の購入・転売で利益を得るといった詐欺被害が相次ぐなど、サイバー犯罪のリスクが増加しています。技術革新がもたらす恩恵には、常に相応のリスクが伴うという現実があります。



■iOS へのマイナンバーカード搭載で社会実装が加速

2025 年 2 月 27 日、警視庁はインターネットバンキングなどの本人確認は、2027 年 4 月からマイナンバーカードの IC チップを読み取る方法に原則一本化する方針を明らかにしました。対面による本人確認も、マイナンバーカードや運転免許証などの IC チップの読み取りが義務化されることとなります。

これに先立ち、2025 年春から初夏に iOS へのマイナンバーカード搭載がスタートする予定です。スマートフォンへの搭載により、従来と比べて携帯率が向上し、マイナンバーカードを活用したサービスの標準化が進展することが期待されています。

【スマホにマイナンバーカードが搭載される効果】

利便性の向上

スマホで本人確認や各種サービスが利用できるようになり、各種手続きが簡易になる

利用率の増加

デジタル行政が加速

キャッシュレス促進

非接触型サービスの普及



セキュリティ強化

スマホの生体認証、暗号技術と連携で盗難・紛失時のリスクが低減

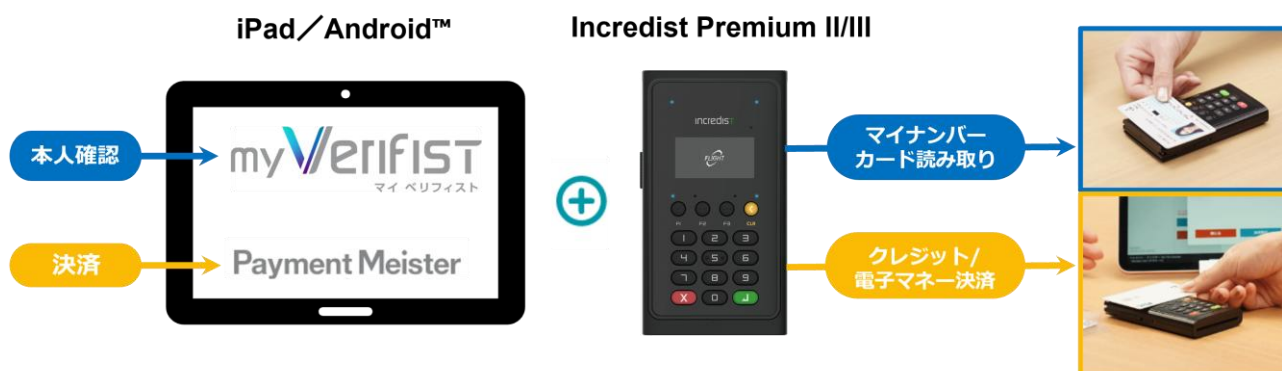
環境負荷の低減

物理カードの減少でプラスチックごみの削減、制作や輸送にかかるCO2排出量の軽減に寄与

こうした背景から、マイナンバーカードを活用した社会的インフラを構築するために、円滑な運用を実現するための環境整備として、カードの読み取り機器の普及が重要な課題となっています。

■ 次世代の新常識は本人確認×キャッシュレス決済の二刀流端末

当社の「Incredist Premium（インクレディスト・プレミアム）*2」は、キャッシュレス決済の普及やマイナンバーカードの活用を見据え、スマートな IT 技術を駆使したマルチ決済端末として誕生しました。専用アプリ*3をダウンロードしたタブレットに接続することで、用途に応じて公的個人認証装置とキャッシュレス決済装置に切り替えて利用することができ、複数の端末を用意する必要がありません。コンパクトな設計でスペースを取らず、スマートな操作性と柔軟性、そして高い安全性を兼ね備えた次世代型端末です。



- ✓ 1台2役で省スペースの運用を実現
- ✓ 機動性に優れ、場所を選ばず柔軟な対応が可能
- ✓ タブレットの利活用で企業資産を有効化

- ✓ シンクライアント型で各端末にデータを残さない、安全・安心の高セキュリティ
- ✓ 対面での電子署名を用いた契約から引き落とし口座の登録まで一気通貫で処理

■ デジタル身分証時代に向けた取り組み

現在、スマホへのマイナンバーカード搭載に向け、スマホにデジタル身分証を搭載する際の国際標準規格となる「ISO/IEC 18013-5 (mDoc/mDL) *4」に準拠した方式および日本のマイナンバー独自の仕様を網羅する技術開発に取り組んでいます。myVerifist のサービスを強化し、カードレス化への対応に備えます。

■ 「Incredist Premium III」の量産開始

また、公的個人認証ソリューション「myVerifist（マイ・ベリフィスト）」は、政府が進める DX 施策との親和性が高く、デジタル庁が運営するマイナンバーカードの利用シーン拡大の取り組み促進お役立ちサイトにも掲載され、その有用性が認められています。当社は、myVerifist がマイナンバーカードによる本人確認の一本化に備える最適なサービスとして、市場への積極的な展開を進めるため、2025年3月25日より国内工場（岩崎通信機）での Incredist Premium III（インクレディスト・プレミアム・スリー）の量産を開始いたしました。カード読み取り機器の安定した供給体制を構築し、サービス事業者へのサポートを実現します。



■ 技術で未来をつなぐ

今後も IT 社会が進化を遂げる過程において、新たな課題が生まれることは避けられません。当社は、コアバリューである「技術」を基盤にこれらの課題への解決策を追求し続けてまいります。そして、当社のソリューションやサービスが、誰一人取り残さない社会の実現と、安心して暮らせる未来づくりを支える存在となることを目指してまいります。

*1：参照/令和7年3月7日付「クレジットカード不正利用被害の集計結果について」

*2：Incredist Premiumの現行モデルにはオリジナルとIncredist Premium II（インクレディスト・プレミアム・ツー）を展開しており、マイナンバーカードの読み取りに対応する機器は、Incredist Premium IIならびにIncredist Premium IIIです。

*3：本人確認に必要なアプリケーションは「[myVerifist\(マイ・ベリフィスト\)](#)」、決済装置に必要なアプリケーションは「[payment Meister \(ペイメント・マイスター\)](#)」となります。

*4：ISO/IEC18013-5 (mDoc/mDL) はモバイル運転免許証に関する国際標準規格です。

・「iPad」は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。

◆ 本件に関するお問い合わせ ◆

株式会社フライトソリューションズ

担当： 松本 隆男 / 金（こん） 浩樹

電話： 03-3440-6100

FAX： 03-5791-2241

e-mail： info@flight.co.jp